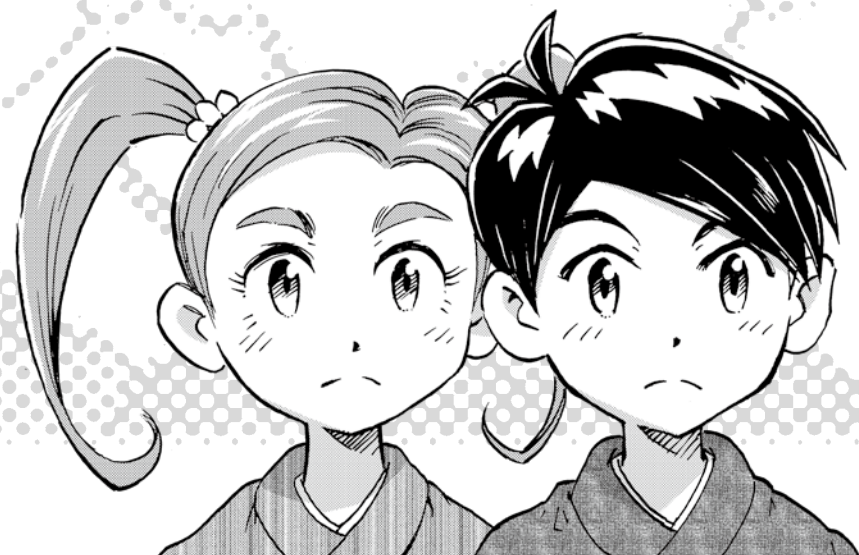


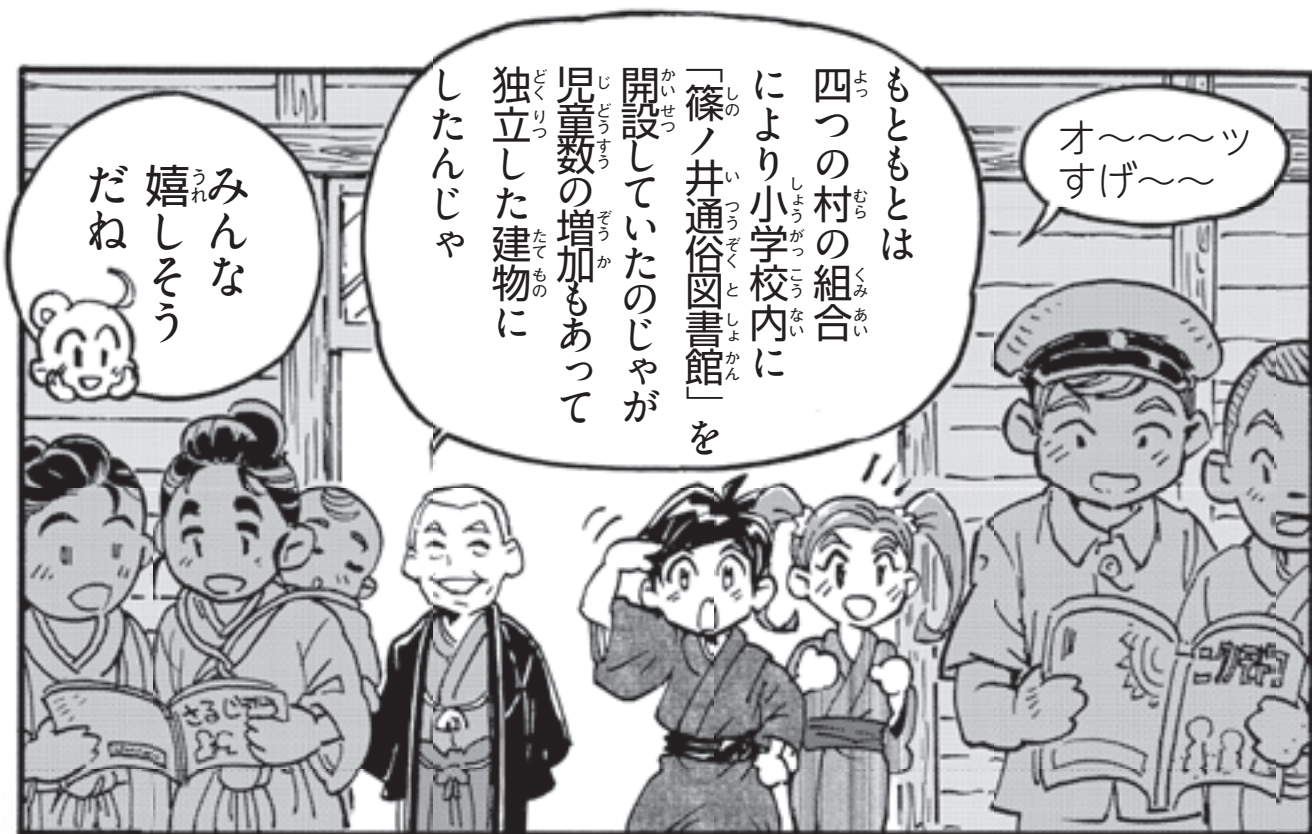
第4章

次代に繋がる種まき

～通明図書館ともうひとつの通明小～

昭和初期





オ~~~~ツ
すげ~~

もともとは
四つの村の組合
により小学校内に
「篠ノ井通俗図書館」を
開設していたのじゃが
児童数の増加もあって
独立した建物に
したんじや

みんな
嬉しそう
だね



そう!!
子どもたちを
文化に
触れさせたい!



文化は
地域発展に
必要なのだ



そうっ
つうめいと
通明図書館の
設立を
担ったのは
誰か!?

宮入先生は各地で
小学校の先生や
校長や青年会長を
務めたすごい人で
この図書館の
発起人よ

思いおこせば
自身の蔵書の寄贈
から始めたのが
明治40年
地域より協力者を
募りようやくと
村の皆の悲願を
叶えたのじゃ...

男泣き!!



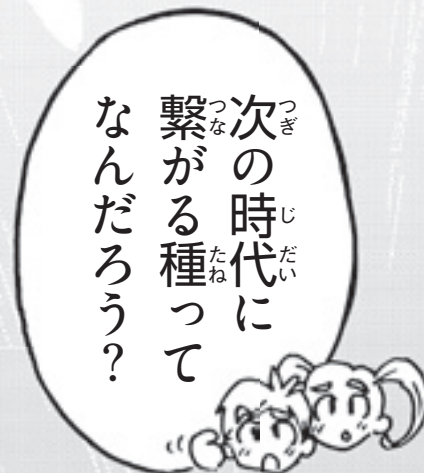
その
君たち!!

ここは
昭和4
正門前
1929
年の



あな
た
は?
...

わたし
おんべがわ
私は御幣川の
宮入源之助(27)
栄村と布施村の
青年会長じゃ☆



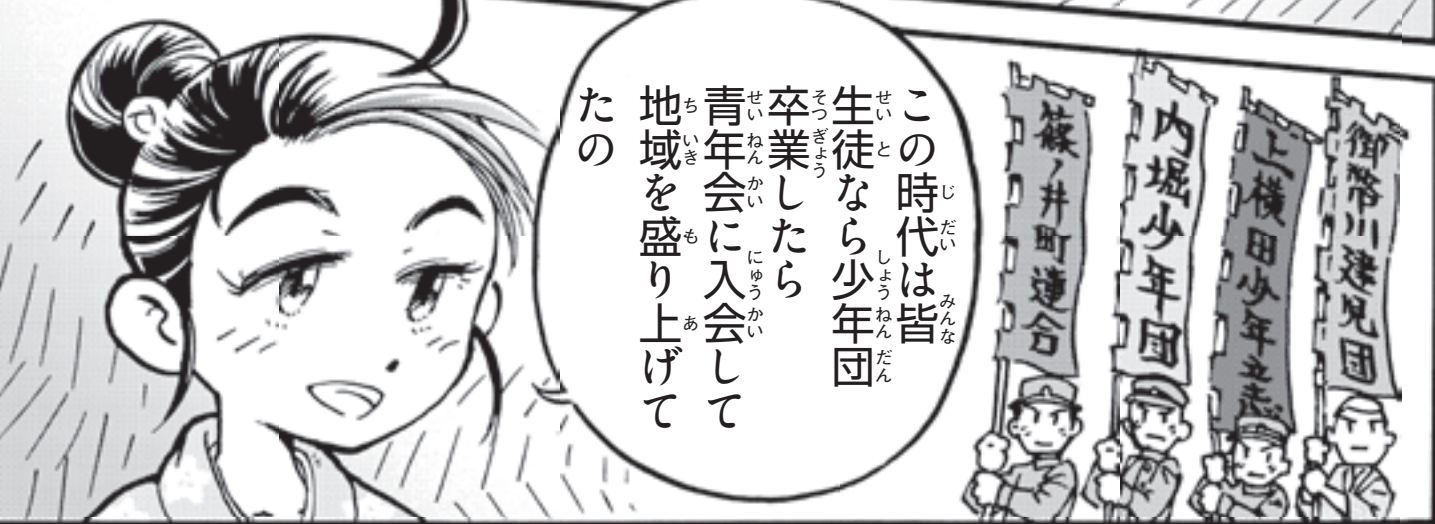
次の時代に
繋がる種って
なんだろう?



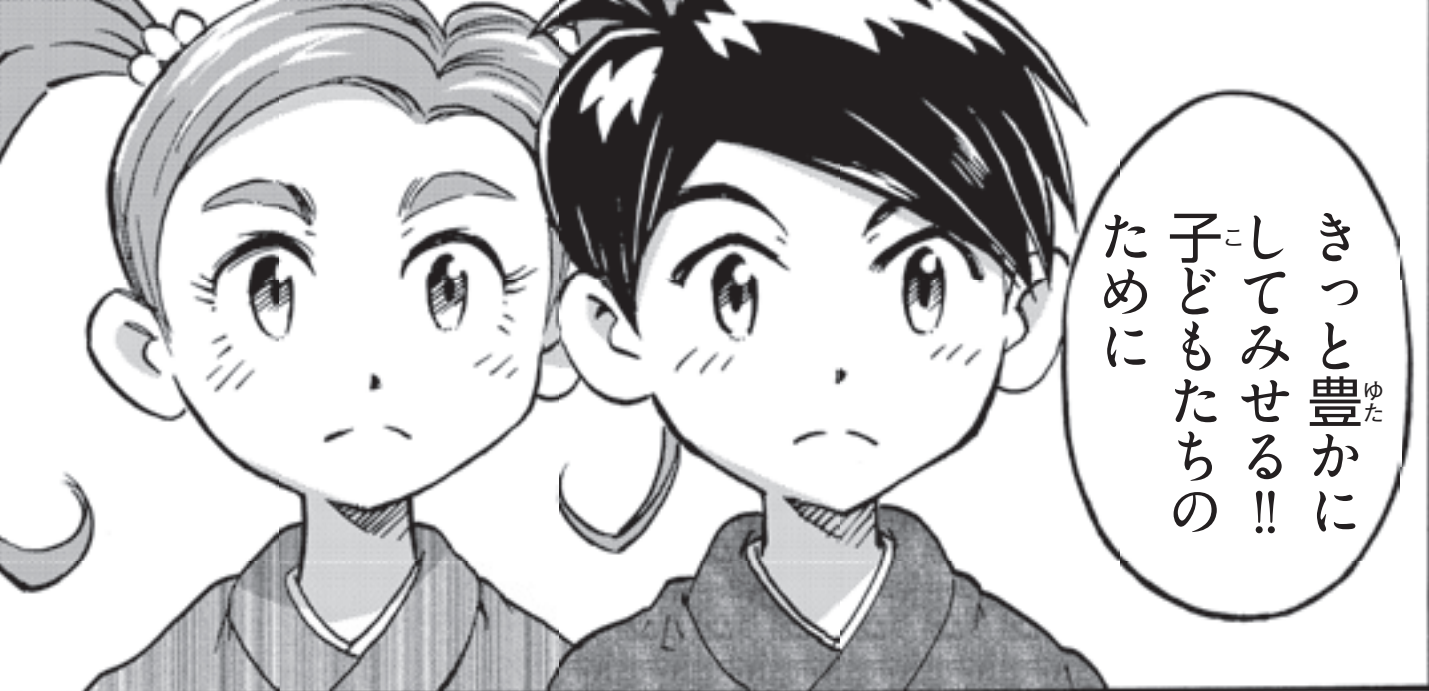
これが
正門横に
新築された★
「通明図書館」
じゃ!!

え!!
通明の
図書館って
...!!

ヒントは
「通明ブランド」
かな?







きつと豊かに
してみせる!!
子どもたちの
ために



その言葉どおり
学校も町も
大きく発展を
とげて

鹿追町立
通明小学校は
2019年
で100周年

周りには
開拓の象徴である
柏の葉と
ペンをデザイン
厳しい大自然にも
うち勝つ精神が
表現されている



その校章は
中心に「通明」の文字
円は人格円満と
協力の輪
「和」を示す



なんか
勇気を
もらったね

この種が
未来に繋がる
んだね

しかしお話は
大波乱の第5章に続く



とくに
明治43(1910)年と
大正3(1914)年の
大洪水は栄村を中心に
被害をもたらした

その結果
大正7(1918)年からの
堤防大改修計画により
東(下)横田53戸
西(上)横田21戸
神社や寺も移転を強いられた



横田以外から
瀬原田唐臼会村と
他の村を含め
26人が集まり

新天地を求め
ここまで来たんじゃ
退路を断つため
故郷の地は二度と
踏まない覚悟じゃ



「誠を尽くせば
神に通ず」

俺たちはこの荒野を
通明の魂で耕す

第4章 北海道にも通明小!?

【鹿追町立通明小学校（しかおいちょうりつつうめいしょうがっこう）】

千曲川の氾濫により洪水被害が絶えなかったことから、大正6年に千曲川改修計画が決議され、大規模な堤防が築かれることになりました。この工事により東西横田156戸のうち74戸が移転を余儀なくされ、その住民を中心とした26名が北海道へと移住しました。

移住者等により、大正9年に小学校（児童数26名）が開校され、その後、故郷の小学校にあやかりたいと、昭和2年に校名を通明小学校と改めました。

両校には長い交流の歴史があります。



鹿追町立通明小学校



エゾヤマザクラ

昭和49年に鹿追町立通明小から贈られた。北海道に多く自生している桜で、春には濃いピンク色の美しい花を咲かす。

篠ノ井の通明小が
100周年を迎えた時以来、
今でも鹿追町の通明小からジャガイモが
送られて来ているんだよ！



【通明図書館（つうめいとしょかん）】

篠ノ井通明図書館は、明治40年に220冊の蔵書から始まりました。昭和4年に学校正門前に建物が建設され（写真）、取壊される昭和44年まで大切に利用されました。昭和54年に長野市立南部図書館と名称を改め、34万冊（令和元年）の蔵書を誇る県内では2番目に古い図書館として現在に至ります。



通明図書館（出典：新編栄村沿革史）